

ふくしまで働く・暮らす・新しい私

ふくらす

FUKURAS



東京都・茨城県から

大熊町へ



おおくま未来合同会社
岩元 恵造さん(38)
田崎 七海さん(23)
松本 龍之さん(54)

田崎さんとことこついでいく人懐っこい「まる」

2021年 新潟県から

南相馬市へ



アトリエ iriser-イリゼ-
清田翔衣さん(24)

2021年 新潟県から南相馬市へ

商品一つ一つにコンセプトが込められています



羊牧場を町の拠点に

愛情たっぷり育てる

2023年に開設された羊牧場「ウルスシープ」。羊飼いの松本龍之さん（東京都出身）、岩元恵造さん（東京都出身）、田崎七海さん（茨城県出身）に話を聞きました。移住したきっかけは？

松本さん 両親がいわき市出身なので福島県には親しみが

ありました。何度も足を運ぶうちに何か恩返しをしたいと思うように。羊牧場を活用した町おこしに参加しました。羊は国内飼育が貴重なので「面白い」と感じました。

岩元さん 約10年前、旅先で出合った羊に一目ぼれ。大好きな羊と関わる仕事を探していました。地方での居住経験はありませんでしたが、「羊が好き」の一心で移住しました。

田崎さん 大学で羊を飼うサークルに所属していました。羊飼いの仕事にはなかなか出合えなかったので「ウルスシープ」での仕事は天職でした。

どのように育てているの？

松本さん チーズを作るため

にミルクをとったり、羊を連れて町のふれあいイベントに参加したりしています。羊たちがストレスなく過ごせるよう、毎日の清掃を徹底。愛情をたっぷりかけて育てています。

大熊町の魅力って？

岩元さん 緑がきれいで自然豊かところ。大野駅前に商業施設ができるなど交流できる場所が増えているのも魅力です。町づくりがスピーディーでどんなに住みやすくなっているのを感じます。

これからの夢や目標は？

松本さん 「『ウルスシープ』がある大熊町に行ってみよう！」と思ってもらえる、魅力的な羊牧場にしたい。

田崎さん 愛玩動物看護師の国家資格を取得しました。知識を生かした最適なケアで動物たちの健康を守っていききたいです。

岩元さん 羊の魅力をもっと発信したい。羊を身近に感じてもらえるよう広報活動にも力を入れていきます。

移住を考えている方へ

チャレンジしてみたいことにチャレンジできる場所です。具体的な夢はもちろん、「何かやってみたい!」という気持ちも応援してくれます。(岩元さん) / 静かな田舎でのんびり暮らしたい人にぴったり。家賃補助や移住支援金などの移住制度も充実しているので安心です。(田崎さん)



OURSHEEP（ウルスシープ）

おおくま未来合同会社が2023年に開設した羊牧場。約63頭の羊たちが暮らしています。大熊町のいちごを食べて育った「ストロベリーシープ」はふるさと納税の返礼品になっています。

OURSHEEP

福島県双葉郡大熊町大字大川原字西平2074

おおくま未来合同会社

TEL 0240(23)4341

福島県双葉郡大熊町大字大川原字西平1494



ウルスシープ
Instagram

ガラスアクセサリーで

暮らしに寄り添う

酸素バーナーを使ってガラスをさまざまな形に加工するランプワーカー（ガラス職人）。清田翔衣さんはハンドメイドガラスブランド「イリゼ」のランプワーカーとしてネックレスやピアス、リングなどを生み出しています。「ガラス職人には小さい頃から憧れがありました。高校卒業後、ガラス造形の技術を専門学校で習得。『イリゼ』は職人として企業に就職できることに魅力を感じ、移住することを決めました。」

「女性が働ける場所をつくりたい」という思いからOWB株式会社（南相馬市）が2019年に立ち上げた「イリゼ」。「現在7人の女性職人が働いています。ライフスタイルに合わせて多様な働き方ができるので幅広い年代の女性が活躍。個人の作品制作と両立している方も多いです。」

デザインの主なモチーフは南相馬市の海や花、風、地域の文化。「自分が見ている景色や経験を形に落とし込んでいます。シンプルに繊細に表現したいです。」

移住を考えている方へ

福島県の12市町村は一度ゼロになってしまったけれど、「みんなで盛り上げていこう!」という雰囲気があり、私も日々たくさんエネルギーをもらっています。知り合いがいない土地での生活に不安はつきものですが、新しい出会いやきっかけを楽しみながら過ごしていってほしいと思います。



アトリエ iriser - イリゼ -

OWB 株式会社（旧：小高ワークスペース）が運営するハンドメイドガラスブランド。服や場面を選ばないシンプルさが魅力。「HARIO ランプファクトリー小高」としての生産拠点にもなっています。

TEL 0244(26)4665

福島県南相馬市小高区本町1-87

小高バイオニアヴィレッジ



イリゼ
ホームページ

山村からエビが“はねる”

標高500㍎の村で陸上養殖

株式会社HANERU葛尾
村中 雄太さん(40)
2023年 山口県から葛尾村へ

株式会社 HANERU 葛尾

2022 年に建てられたバナメイエビの陸上養殖施設。研究開発を重ねながらエビを育てています。また、水道管理技術を生かし、葛尾村の簡易水道に関わる調査や点検等も担っています。



HANERU 葛尾
ホームページ



HANERU 葛尾
Instagram

Tel 080(5875)6733
福島県葛尾村大字落合字関下21-4

山々に囲まれた葛尾村に建てられたバナメイエビの陸上養殖施設「HANERU葛尾」。そこで働く村中雄太さんは飼育・修繕・料理…と何でもこなす「マルチタレント」として活躍しています。「『HANERU葛尾』は水道インフラを整える技術を継承するためのモデル事業として立ち上げられました。私も元々水道事業に携わっていたので、そのノウハウを生かしたいと思い葛尾村に。海がないので、地下水をくみ上げて作った人工海水を循環させ、完全閉鎖型で育てています。また、水道管理の技術を生かし、村の簡易水道の点検や水質検査も行っています」。

葛尾村は標高約500㍎の寒冷地。エビを陸上養殖するには厳しい環境。「養殖には適さない環境だからこそ、ここで成功すれば他の地域でも実現できる養殖技術に。また、日本中のどこでも水産が可能になれば食料自給率の向上にもつながると考えています。現在は小名浜海星高校（いわき市）と提携し、クラブ等でエビの陸上養殖実験飼育を共同で行っています」。

かつては料理人もしていたという村中さん。エビをおい

しく食べるレシピも開発しています。「きれいな水でエビを育てる」が生産のモットー。「HANERU葛尾」のエビは臭いがなく、刺身として食べられます。頭や殻も柔らかいのでそのまま串焼きや唐揚げにしてもおいしい。現在はまだ皆さんの食卓に届けるのは難しいのですが、いつか味わっていただけるようブランド化を目指しています」。

山村での閉鎖型陸上養殖施設は珍しく、連日多くの見学者が訪れます。「ゆくゆくはここをアミューズメントパークのような場にしたい。エビをどのように育てているかを見て学び、食べておいしさを実感してもらえるようにできたらうれしい。この地で“はねる”エビが葛尾村の特産品となる日を目指しています」。

移住を考えている方へ

自然が豊かな葛尾村。緑が多く、空気がきれいな村です。夜は静かで満天の星を見ることができます。移住をしてみたいと思ったら村の雰囲気を知るためにも一度訪れてみて。肌で感じる良さがきっとあるはず。葛尾村の人たちはみんな寛容。ぜひ村に来たら話しかけてみてください。

「町の変化を共に紡ぎたい」

案内人として暮らしをサポート



一般社団法人 とみおかプラス 移住専門員
竹原 愛梨さん(27)
2021年 島根県から富岡町へ



さまざまなイベントに参加し、富岡町を知ってもらえるよう広報活動

一般社団法人 とみおかプラス

移住の相談窓口やイベント企画・商品開発、「とみおかサポータークラブ」の運営、町民への暮らしの案内など、町内外のあらゆる人々のつながりを土台として富岡町の「未来に向けたまちづくり」を行っています。

TEL 0240(23)6919

福島県双葉郡富岡町小浜中央338(旧竹村写真館)

事務所／平日9:00～17:45

移住相談受付／10:00～17:00

※休館日は移住情報サイト「とみおか暮らし情報館」ホームページをご確認ください。



とみおかプラス
ホームページ



竹原愛梨さんの地元・島根県には原子力発電所があったことから福島県のことや頭の片隅にずっと残っていたといえます。「原発がある町」で育った私にとって東日本大震災による事故は衝撃的でした。「もし自分の町だったら」と強く自分ごとのように感じ、福島県のことやずっと気になっていました」。

復興が進む福島に足を運んだ竹原さん。そこで見たのは避難指示解除後で人気がない静かな町に立派な建物が建てられていく光景でした。「初めは違和感を感じましたが、次第に『この地に住んで、町の変化を共に紡ぎたい』と思うように。自分の直感を信じて就職を決めました」。

富岡町から始める暮らしの提案や暮らし体験施設「お試し住宅」の運営、町民交流会など移住前後のサポートを行う移住専門員。「私も県外出身だからこそ、お話しする時には『自分が暮らしやすくなるためにはどんな情報が欲しいかな?』と考えるようにしています。いろいろの方が来てくれるので、相手の要望を瞬時に察知できるように。全てサポートするのではなく、相手の主体性も尊重できるよ

移住を考えている方へ

「移住」というと大きな決断のようですが、「引っ越し」と捉え直してみると少し印象が変わるかもしれません。ちょっと行ってみようかなぐらいの気持ちでも大丈夫。町の皆さんはあたたかく迎えてくれますよ。気になることは何でも相談してみてください。私も「とみおかプラス」でお待ちしています!

う、時には離れて見守ることも心掛けています」。

スーパーや病院などがコンパクトに整っている富岡町。住民が自ら企画・運営する開かれたイベントが盛ん。有志が中心となり催される場では、地域内外問わず誰もが「みんなで楽しもう!」と心地よい一体感を味わえるのが魅力です。「自分らしい暮らし方を選べる『余白』が何より楽しく、日々自由に工夫を凝らせます。イベントへの参加も選択肢の一つです」。

これからの夢は富岡町で子どもを育てること。「いろいろな人と関わりあいながら価値観を育ててあげたい。第二の故郷であるこの場所です。富岡町の案内人」として寄り添い、誰もが幸せに暮らせるようサポートをしたいです」。

未来を開発する過程に携われる

毎日たくさんの刺激でワクワク



會澤高圧コンクリート株式会社
森 礼子さん(47)
2024年 千葉県から浪江町へ



1000ccのエンジンを搭載したドローン「超無人機」
積載重量は150kg、航続時間6時間以上（無積載時）

會澤高圧コンクリート株式会社 福島 RDM センター

コンクリートとテクノロジーを融合させ、「自己治癒コンクリート『Basilisk』」や「蓄電コンクリート」などコンクリートの可能性を広げる新しい技術を開発。福島 RDM センターは研究開発型生産拠点として 2023 年に建てられました。

福島 RDM センター
Tel 0240 (23) 4391
福島県双葉郡浪江町大字請戸字北迫 1-3



福島 RDM センター
ホームページ



バクテリアの力でコンクリートのひび割れを自ら修復する「自己治癒コンクリート」の量産化に世界で初めて成功した會澤高圧コンクリート株式会社。千葉県から移住した森礼子さんは「自己治癒コンクリート」に惹かれ就職を決めました。「企業説明会で話を聞き、初めてそのような技術があることを知りました。『面白そう!』と思い、その後すぐに会社見学をさせてもらいました。現在は、福島 RDM センターが地域や人を結ぶつながりの場となるようセンターを訪れた方々に案内をしています」。

これまでとは異なる業種への転職だったという森さん。「新しい未来を『開発』する過程に携われることに大きなやりがいを感じています。會澤の研究については私も勉強の日々。たくさんの刺激とワクワクを感じています」。

んだ空を眺めているだけで福島に来て良かったと心から思えます」。

移住する時に支えられたのは周りの人とのつながり。「福島のみなさんは本当に優しい。移住や就職で悩んだ時もたくさん相談に乗っていただきました。『こういうことをやってみよう』と言葉にすることですらに出会いが生まれ、どんどん輪が広がっていききました」。

「福島 RDM センターではエンジンドローンの開発も進めています。私も飛行機が好きなので今後はドローン事業にも携わってみたいです。現在は小さなドローンで操縦の練習中。自分の好きなことや、やりたいことに挑戦できる環境に感謝しながら頑張っています!」。

移住を考えている方へ

まずは県や市町村からの情報を集めることから始めてみてください。気になる地域を見つけたら「お試し移住」を活用するのがおすすめ。一定期間過ごすことで、移住後の生活をイメージしやすくなりますよ。また、いろいろなところに相談しながら「抛り所」のような場所を見つけられると心強いと思います。

Q. 「ふくしま12市町村」ってなに？ 移住者ってどのくらいいるの？

A. 「ふくしま12市町村」とは、東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴い、避難を余儀なくされた12市町村（田村市・南相馬市・川俣町・広野町・楡葉町・富岡町・川内村・大熊町・双葉町・浪江町・葛尾村・飯館村）のこと

令和6年度の福島県の移住世帯数・移住者数は2700世帯・3799人。平成18年度の調査開始以来、最多を記録しました。12市町村の移住世帯数・移住者数は令和元年度の115世帯・152人から増加し、令和6年度には578世帯・822人と約5.4倍の人数に達しました。 ※出典／「令和6年度移住世帯数・移住者数について」（福島県企画調整部ふくしまぐらし推進課）

～ふくしま12市町村への移住支援金～

世帯移住の方に200万円、単身移住の方に120万円を給付します（その他、子育て世帯や医療等従事者への加算あり）。詳しくは右の二次元コードから確認を。



福島県12市町村
移住支援金につ
いて

Q. 各市町村それぞれに話を聞くのは大変そう… まずはどこに相談したらいい？

A. 「ふくしま12市町村移住支援センター」へご相談を！ 12市町村の特色・仕事・住まいなどあらゆる相談に対応。移住セミナーや移住体験ツアーも定期的に開催しています。

問い合わせ

TEL 0800(800)3305(平日8:30～17:00)
メール ijyu-shien@fipo.or.jp

ふくしま12市町村移住ポータルサイト
未来 ワーク ふくしま



Q. 実際に市町村を訪れてみたい！ 交通費の支援制度や「お試し移住」制度はある？

A. ふくしま12市町村への移住を検討している方に向けて、現地活動するための交通費・宿泊費を補助する「ふくしま12市町村移住支援交通費等補助金」や気軽に福島での暮らしを体験できる「お試し住宅」を用意しています。

「ふくしま12市町村移住支援交通費等補助金」…1年で最大5回、往復交通費と宿泊費を約半額補助

対象となる 活動例

■ 生活環境、
事業実施可能性
などの相談や調査



■ 就職のための
企業訪問



■ 住まい探し



住みたい街を
見つけたら！

「お試し住宅」

を活用しよう

利用料金や期間については各市町村に問い合わせを

南相馬市  みなみそうま 移住相談窓口よりみち TEL 0244(26)8518	田村市  たむら移住相談室 TEL 050(5526)4583	川俣町  川俣町役場 政策推進課 まちづくり推進係 TEL 024(566)2111	浪江町  浪江町 移住相談窓口 TEL 0240(23)7530	富岡町  富岡町移住相談窓口 とみおかくらし情報館 TEL 0240(23)6983	楡葉町  楡葉町 移住相談窓口 TEL 0240(23)6271
広野町  広野暮らし相談窓口 「りんくひろの」 TEL 0240(27)1251	葛尾村  葛尾村 移住・定住支援センター TEL 0240(23)7727	川内村  川内村移住・定住支援センター (一般社団法人かわうちラボ) TEL 0240(23)7040	双葉町  双葉町 移住定住相談センター TEL 080(1752)9353	大熊町  大熊町 移住定住支援センター TEL 0240(23)7103	Point 街歩きや地域との交流 など、現地で過ごすこ とで移住後の生活 をより具体的にイメ ージしやすくなります

Q. 移住先の「お仕事探し」をしたい！

A. まずは「働きたいネット」をチェック！ 厚生労働省福島労働局から受託している「福島広域雇用促進支援協議会」が一人一人に寄り添った丁寧なサポートを提供しています。利用は全て無料。詳しい内容はP11をご覧ください。



気軽にご相談を！

働きたいネット
福島広域雇用促進支援協議会
イメージキャラクター
はたらっこ

「ちょうどいい田舎」で
チャレンジしてみませんか



ムシムシランド昆虫館



田村市キャラクター
カブトン

田村市では、移住してチャレンジしたい方を応援しています。農業・林業に就きたい方、創業・起業したい方へのサポートはもちろん、プロによる就労支援を無料で行っています。ショッピングセンター内のチャレンジショップも無料で利用できます。また、住宅取得・改修、子育てに関する各種補助制度の充実を図っているほか、現地体験ツアー・イベントも通年実施しています！

🎁 企画調整課 or 「たむら移住相談室」にご相談の方には、オリジナルノベルティをプレゼント！

福島県田村市船引町船引字畑添76-2
Tel.0247(61)7615 (平日8:30~17:15受付)



たむらし
田村市

田村市役所 企画調整課

【支援制度】

- 移住支援金 【世帯】最大200万円
【単身】最大120万円
- 賃貸住宅家賃補助 月4万円上限
- 子育て世帯住宅取得補助 最大180万円

川俣町は、JR福島駅から車で約30分、東京から2時間圏内。阿武隈山系の豊かな里山と清流に囲まれながら、街の便利さも併せ持っている町です。賃貸住宅の入居者、二地域居住者などへの支援金のほか、空き家の改修・建て替え等にも支援金があります。また、妊婦さんへのタクシー利用助成、「かわまた認定こども園」の保育料無償化、

中学生までの給食費完全無償化など子育て支援も充実。ぜひお気軽にご相談ください。



かわまたまち
川俣町

川俣町役場 政策推進課

【支援制度】

- 川俣町空き家改修等支援金(福島県外からの移住者):最大250万円
- 川俣町賃貸空き家改修等支援金(福島県外からの移住者):最大250万円

充実した支援制度や
移住・定住促進住宅で
新生活を応援します！

福島県伊達郡川俣町字五百田30
Tel.024(566)2111 (8:30~17:15受付)



かわまたアンスリウム



川俣町キャラクター
小手姫様

12 市町村の 魅力を 紹介

笑顔とチャレンジが
あふれるまち「ならは」



町の特産品「ゆず」
ゆず太郎

檜葉町は、首都圏からのアクセスも良く、海、山、川の大自然に囲まれつつ、生活に必要な施設がコンパクトに整っているのが特徴です。町での生活イメージをつかんでいただくためのオーダーメイド型のプログラム「ならは体験プログラム」や「お試し就労体験」を通して檜葉町での暮らしをよりリアルに感じることができます。移住を検討する際はまず、現地を訪れることをお勧めします。おうち探し、お仕事探し等、お気軽に移住相談窓口へお問い合わせください。

ならはまち
檜葉町



檜葉町役場 政策企画課 移住・定住係

【支援制度】

- 空き家改修補助金 最大250万円(改修200万円、片付け50万円)
- 賃貸住宅家賃補助金 最大4万円/月(最長36ヵ月)
- 保育料 無償化 ● 給食費 無償化(こども園・小中学校)



福島県双葉郡檜葉町大字北田字鐘突堂5-6
Tel.0240(23)6103 (平日8:30~17:15受付)

自然豊かな川内村で
のんびりスローライフを！



川内村キャラクター
自然の村長
モリタロウ



川内村にはおいしいお米やそば、ぶどうやいちご、ワインにクラフトジンなど特産品が数多くあります。また、アルカリ度数の高い泉質で「美人の湯」として有名な温泉施設も人気。条件はありますが、村では新たに住居を取得する方へ最大200万円を補助しています。また、子育て世帯への各種補助(保育料無料、チャイルドシート等購入補助金)も行っております。お気軽にご相談ください。

福島県双葉郡川内村大字上川内字早渡11-24
Tel.0240(38)2111 (8:30~17:15受付)



国特別天然記念物指定 平伏沼(へふすぬま)
※モリアオガエルの繁殖地



かわうちむら
川内村

川内村役場 総務課 企画政策係

【支援制度】

- 「来て かわうち住宅取得等支援事業補助金」
新築:最大200万円、中古住宅取得:最大70万円、増改築:最大70万円
- 保育園保育料無料
- 保育園、小中学校(義務教育学校)給食費無料ほか

みなみそうまし
南相馬市



南相馬市役所 商工観光部 移住定住課

【支援制度】

- 移住検討者市内活動交通費支援補助金：タクシー・レンタカー利用料を補助
- お試し住宅：利用料無料、1回につき最大10泊

太平洋に面し、温暖な気候の南相馬市は、一千年以上続く伝統行事「相馬野馬追」開催の地でもあります。移住に関する幅広い支援制度を準備しているほか、「みなみそうま移住相談窓口よりみち」では移住検討者のみなさまに寄り添った手厚いサポートを提供します。歴史の面影と豊かな自然に包まれ、穏やかに時間が流れる南相馬市へ、リフレッシュを兼ねてぜひ遊びに来てください。

🎁 オリジナルグッズをプレゼント！

福島県南相馬市原町区本町2-27
TEL0244(24)5269 (平日8:30～17:15受付)



南相馬市キャラクター
のまたん



広野町キャラクター
ひろのぼー



自然・食・
観光など魅力
あふれる12市町村。
街の魅力を各自治体
や移住相談窓口のみな
さんに教えていただきま
した。各市町村では移住
や子育てに関するさまざ
な支援制度があります。新
しいチャレンジをここで始
めませんか。

🎁 ...このマークがある市
町村では「FUKURAS」
を持参して相談に来
た方に特典を用意
しています。



子育て環境が魅力
未来実るひろの

🎁 オリジナルマスキングテープをプレゼント！

福島県双葉郡広野町大字下北迫字苗代替35
TEL0240(27)1251 (平日8:30～17:15受付)



広野町は海沿いに位置し、寒暖差が少ない温暖な気候。冬も雪が少なく、一年を通して快適に過ごせます。町では教育に力を入れており、「教育の丘」には幼児から高校生までが学べる環境があります。こども園と町立学校では、自校調理のあたたかい給食が提供され、自然豊かな中で子どもたちがのびのび育っています。ぜひ、お気軽にご相談ください。



ひろのまち
広野町

広野町役場 復興企画課

広野暮らし相談窓口「りんくひろの」
【支援制度】

- 保育料：0～2歳児 無償化
- 給食費：3～5歳児・小学生・中学生 無償化
- お試し住宅：利用料無料(最大10泊、年2回まで)
- 空き家改修費補助：上限250万円(県外からの移住者対象)

富岡町は自然豊かで四季を通じて過ごしやすい町です。そんな富岡町での暮らしはアクティブに楽しむもよし、ゆったりするもよし。自分にあった生き方を見つけることができます。町は特に教育・子育て支援に力を入れており、小・中学校の教育費の実質無償化などを行っています。その他、教育・子育て以外にも創業・起業、住宅取得・改修、就農等に関する各種制度をそろえてあなたをお待ちしています。

とみおかまち
富岡町



富岡町役場 企画課 企画政策係

【支援制度】

- 教育費の無償化：町内の小・中学校に通学する児童生徒の就学費を町で負担。新入学用品・学用品・通学費・校外活動費・修学旅行費等の補助もあります。

福島県双葉郡富岡町大字本岡字玉塚622-1
TEL0240(22)2111
(8:30～17:15受付)



“あなたらしい生き方”を
この富岡町で



富岡町キャラクター
とみっぴー

大熊町キャラクター
まあちゃん



大熊町で一緒にチャレンジ・
成長してみませんか？



住宅支援や教育施設等が充実している大熊町。無料職業相談所を大熊町移住定住支援センターに併設し、求人サイト「くまジョブ」も開設しています。今年3月にオープンした産業交流施設「CREVAおおくま」では、コワーキングスペースや貸し会議室、町を一望できるテラスを一般開放。駅商業施設「クマSUNテラス」では、飲食店やコンビニに加えてキッズルームや広場があり、子育て環境の整備も着実に進んでいます。令和元年に再スタートした大熊町。仕事や子育てにチャレンジする方を応援し、町自体もチャレンジし続ける町です。これからどんどん進化する町と一緒にチャレンジしませんか？

🎁 オリジナルクリアファイルとステッカーをプレゼント

福島県双葉郡大熊町大字大川原字南平1717
TEL0240(23)7456 (平日8:30～17:15受付)



おおくままち
大熊町



大熊町役場 生活支援課 移住定住支援係

【支援制度】

- 住宅取得等(新築・中古・修繕)：最大420万円
- 家賃補助：最大月4万円(36か月)
- 移転補助：最大20万円(移住後1年後)
- 認定こども園・義務教育学校(0歳～15歳)保育料、給食費：無償化

令和7年2月オープン！ 地域活動拠点 FUTAHOME (ふたほめ)

まずはお気軽に
ご相談ください！



双葉町キャラクター
フタバくん

一歩ずつ着実に復興が進む双葉町。移住定住相談センターでは、移住検討時に滞在できるお試し住宅の利用や各種支援制度、お仕事探しなどのご相談を受け付けています。令和7年度には町内にスーパーや新しい飲食店も完成し、ますます暮らしが便利になる双葉町で、新たな生活を始めてみませんか？

福島県双葉郡双葉町大字長塚字町12
TEL080(1752)9353 (平日9:00~17:00受付、土・日曜日と祝日は予約制)



ふたばまち
双葉町



双葉町移住定住相談センター

【支援制度】

- 移住支援金(福島県)
- 起業支援金(福島県)

「なみえ焼そば」でも知られる浪江町は、雪が積もりにくく、夏は比較的涼しい、過ごしやすい気候です。水素の製造拠点や、世界に冠たる「創造的復興の中核拠点」を目指す、F-REI(福島国際研究教育機構)の立地、隈研吾氏がデザインを手掛けた浪江駅周辺整備など、新たな挑戦と、豊かな自然が共存するまちです。移住検討時には、お試し

し宿泊制度(2万円で30日、1万円で15日)や、短期宿泊の支援制度、レンタカー補助なども用意しています。

なみえ焼そば



浪江町公式
イメージアップ
キャラクター
うげどん

なみえまち
浪江町



浪江町役場

企画財政課 移住推進係

【支援制度】

- 移住者向け住宅支援 月額家賃最大4万円24カ月間補助
- 移住者住宅取得補助 最大145万円
- 空き家改修等支援 最大210万円

住みたい田舎ベストランキング

2年連続1位！

※月刊誌「田舎暮らしの本」掲載「2025年版 第13回 住みたい田舎ベストランキング」人口5千人未満のまち・総合部門において

福島県双葉郡浪江町大字幾世橋字六反田7-2
TEL0240(23)5764 (8:30~17:15受付)



教育支援が充実し、
子育て世帯に優しい村！



葛尾村の胡蝶蘭(HOPEWHITE)

葛尾村は、山々に囲まれ、豊かな自然が織りなす四季折々の原風景が残るとても小さな村です。県外から移住される方には、支援条件を満たした空き家の改修費用に最大250万円支援するほか、芸術家などの移住者に対して、独自の支援金も準備しています。また、子育て支援施策も充実しており、外国語・ICT教育の充実、海外へのホームステイなど、少人数ならではの魅力ある教育が特徴です。

かつらおむら
葛尾村



葛尾村キャラクター
しみちゃん

葛尾村移住・定住支援センター or 復興推進室にご相談の方に、ノベルティをプレゼント

福島県双葉郡葛尾村大字落合字落合20-1
TEL0240(23)7727 (9:00~17:00受付)



葛尾村移住・定住支援センター

【支援制度】

- 復興移住支援金 世帯最大200万円(単身最大120万円)
- 空き家活用支援 最大250万円

12市町村の
魅力を紹介

自然豊かな村で
スタートしませんか



飯舘村キャラクター
イイタネちゃん

飯舘村の田園風景

いいいてむら
飯舘村



いいいて移住サポートセンター3つ

【支援制度】

- 空き家等購入補助金:最大200万円
- 住宅修繕等補助金:最大100万円
- スタートアップ補助金:最大200万円
- 子育て応援支援金:小中学校入学時1人あたり10万円、高等学校入学時1人あたり20万円

飯舘村は、「明日が待ち遠しくなるような、わくわくする楽しいふるさと」を目指し、新たな歩みを進めていきます。移住をする際の住宅に対する補助のほか、村での生業を始める方を応援する各種制度をご用意しています。意欲一つあれば、あらゆる可能性を見いだせる自然豊かな村です。ぜひ、「ふるさとの担い手」の輪と和が広がっていく、そんな村ぐらしを体験してみませんか。各種支援制度など、詳しくはお問い合わせください。

福島県相馬郡飯舘村伊丹沢字伊丹沢578-1
(役場庁舎西側)
TEL0244(68)2850 (平日10:00~17:00受付)



働きたいネット

移住は？と思ったらお仕事探しも始めませんか。
働きたいネットは、ひとり一人に寄り添い
就職・転職を丁寧にサポート！ **利用はどれも無料！**

就職相談

まずは、気軽に相談してみよう！

☎ **0120-810-650**

あなたの就職・転職の悩みを一緒に解決していきましょう！



求職者の就活をサポート For job seekers

一人ひとりに合った 就職・転職をサポート！

就活のサポートに！

就職相談



あなたの不安をひとつずつ解決して、
一歩前へ！
「就活は何から始めるの？」「働きながらの転職が不安」「定年後も働きたい！」「年齢的に採用してもらえないの？」そんな不安と一緒に解決していきませんか。あなたの「働きたい」をサポート！フリーダイヤル、メール等で気軽に相談できます。

就活ワークショップ(求職者カフェ)

就職を目指すあなたを全力でサポート！

応募書類作成や面接対策、証明写真の撮影、ビジネスマナー等、様々な就職支援をご用意。ご希望の支援を受けられます。利用無料。若者からシニアまでお気軽にお越しください。



社会人基礎力セミナー



あなたらしさを発揮して
「就活&ビジネス」の成功へ
NLPコミュニケーション(言葉と心の使い方)を用い自己認識を見直して信頼関係の構築やコミュニケーション力のアップを目指しませんか。採用面接や仕事に活かし、なりたい自分に近づきましょう。

就活の必須アイテム！

実践型Word・Excelパソコン講座

実践的なパソコン技術を得て、 早期就職を目指そう！

どのような業種においても、パソコン操作能力は求められています。基本操作からケーススタディまで、実践的な内容を短期間で学べます。応募書類を作成する時間もあり、学習したデータを持ち帰り活用できます！



企業と求職者をつなぐ Matching

ミスマッチを防ぎ 企業と求職者をつなぐ！

新しい仕事に一步踏み出す！

企業見学

気になる企業を見学しませんか？

応募したいけど、どんな会社だろう？雰囲気はどうだろう？そんな方は、企業見学へ！求人票だけではわからない企業の魅力や仕事の内容、働く環境を知ることができます。応募前にしっかり確認することが大切です！



職場体験実習

応募前に体験してみる！

未経験の仕事にチャレンジ！

様々な業種・職種で、興味のある仕事を実際に体験するチャンスです！「どんな仕事なのか」、「どんな雰囲気なのか」を体験すると、応募前の不安が解消され、自信につながります！「まずはやってみませんか？！」



企業の情報収集に！

ふくしまで働こう企業説明会

ふくしまで働こう！

様々な優良企業が集結！

「スゴイ企業が！」「この仕事やってみたい！」発見と出会いがあります。求人への質問など気軽に聞ける企業説明会。就職相談、自治体等による**移住支援**など。仕事探しの情報収集やきっかけづくりに参加してみませんか。



就職面接会

“情報収集”で就活を一步前へ！

短時間で複数の企業と話せる就職面接会を活用しませんか。求人票には載っていない魅力を企業から直接聞ける機会です。就職面接会は採用の近道！



行かない!!

「福島広域雇用促進支援協議会(通称 働きたいネット)」って？

経済団体等のオブザーバー会員で構成されています。地域による自主性・創意工夫のある取り組みを支援することが大切であることから、協議会が提案した雇用対策、就職支援に関わる事業から効果が高いものを国が選定しています。それらの事業を協議会が厚生労働省福島労働局から受託し、活動を行っております。

福島広域雇用促進支援協議会は、12の市町村、18の経済団体、それに福島県の合計31の会員と避難先である自治体や

お問い合わせ

福島広域雇用促進支援協議会

福島市中町4番20号 エスケー中町ビル202号

TEL.024-524-2121 平日 9:00~12:00 13:00~16:30

働きたいネット

検索



働きたいネット 公式SNSで最新情報配信中！



Instagram



LINE



Facebook



メールマガジン



今すぐ登録！



【双葉町駅西住宅】

福島県双葉町のJR双葉駅西口にある災害公営・再生賃貸住宅。田園風景を再現した木質の長屋や戸建てが並び、土間や縁側など交流しやすい設計が特徴。帰還者と移住者が共に暮らし、地域再生の拠点となっている。

【表紙写真】

双葉町駅西住宅／

岩本 真幸さん、歩さん、真歩さん、真芽さん

県外から移住して駅西住宅に暮らす岩本さんご家族。移住者も多く、あたたかい雰囲気の中で生活しています。自然も豊かで、のびのびとした毎日です。

ふくしまで働く・暮らす・新しい私
FUKURAS ふくらす

発行 福島広域雇用促進支援協議会
(厚生労働省福島労働局委託事業)

制作 福島リビング新聞社

発行日 令和7年7月17日
